

●受難節第四主日

泉のほとり

今月の詩編「第十五編」

主よ、どのような人が、

あなたの幕屋に宿り、

聖なる山に住むことが

できるのでしょうか。



自分の業をやめる

「わたしは主、あなたの神」と始められた十戒。神は「ご自分」にかたどり人を造り、その「人」のために天地を造られ、あらゆる「よい」で満たしてくださりました。

しかし、その「人」に「わたし以外にほかの神があつてはならない」と戒めなければならぬほど、人は神のもとから離れた。この異常な事態にも気づかない人に対し、しかし、神は人を見捨てず、人の目線に合わせて1から教え始められました。本来あなたを造られた、神の栄光を帯びていたものへと向かわせるために始められたのが、十戒なのです。そして、第四戒は、十戒が目指すゴールまでの全体像を示す戒めと言えます。

主は「安息日を心に留め、これを聖別せよ」と命じられ、一切の仕事を禁じられました。かつてのユダヤ人は、火をつけることすら労働とみなし、安息日を守るために煩雑な生活を送っていました。しかし、マニュアル化された規定通りに行うことが、「安息日を「聖」とすることなのでしょ

うか。一切の仕事をやめて何をするのかと、人は新たな行動指針を求めがちですが、そもそも「聖」とは、するかし

ないかではなく、「あり方」です。神が安息日を聖とする根拠とされたのは天地創造の御業でした。神は人を造り、天と地と海にあるすべてのものを「覧」になって、「極めてよい」とされ、七日目に休んでその日を聖とされたのです。この戒めは、善と悪を知る木の実を食べた人への「あなたは顔に汗を流してパンを得る」という神の宣告を思い起こさせます。一切の仕事をしないと、仕事そのものをやめることが目的ではありません。汗を流して食物を得ることもなく、何もかも祝福と恵みの中、本来の神の似姿に造られ安息にあずかっていた「時」、その「日」のことを思い起こさせているのです。神は人へのあの宣告を喜

ばれるのではなく、一日だけでも再びあの時のようにご自身の安息に与るようというのではないのでしょうか。

十戒の十の戒めはすべてが一つであり、互いに切り離せないものです。はじめに造られた時、人に十戒は必要なく、人を憎むことも、物を盗むことも、偽ることもありませんでした。安息日を「聖」とするとは、単に仕事をやめる話ではなく、それらの自分の「業」をやめなければ、安息日を聖とすることはできず、人は神の安息を知ることでもできないのです。その自分の業をやめるように、十戒の他の九つの戒めが「してはならない」と続いているのです。

ヘブライ人への手紙4章が「神の安息に入る人は、神がご自分の業を休まれたように自分の業を休むのです。ですから……この安息に入るように努めようではありませんか」と語る通り、この戒めは今も霊的な意味において有効です。安息に入るように努めるとは、日頃の手の業をやめるという意味ではなく、かつて神の安息にはなかつた、あらゆる人の業を終えるという意味なのです。

本来、すべての日を聖とすることが望ましいことです。すべての「時」「日」が神のものだからです。しかし神は人の目線に合わせて、具体的に週の一日を特定する配慮をしてくださいます。私たちは週のはじめの日に、主イエスが復活された日として礼拝に集まっています。私のためにご自身をささげられた主イエスが復活されたこの日を感謝し、まずこの日を聖とすることから、すべての時を聖とすることへと実践して生きるので

す。第四の戒めに示された主なる神の計り知れない人への御思い。それは、また御子を与えられた十字架に表されました。創造の七日目に「聖」とされた安息に与るために、十戒が示す一切の自分の業をやめ、御子の聖なる業へと進むようにと努めることこそ、なすべき、絶大なるその御心への応答なのです。

《公 告》

左記の通り、三月教会総会を開催いたします。
現任陪餐会員はご出席下さい。

キリスト品川教会
代表役員 黄允滉

記

日時 3月15日(日) 12時30分(目途)から
場所 キリスト品川教会地下ホール及びリモート

議題

- 一 2026年度教会全体課題案に関する件
 - 二 2026年度教会行事予定案に関する件
 - 三 2026年度主日および週間集会予定案に関する件
 - 四 2026年度教会一般会計予算案に関する件
 - 五 2026年度地域センター会計予算案に関する件
 - 六 2026年度グローリア・チャペル
経費管理会計予算案に関する件
 - 七 2026年度附属幼稚園会計予算案に関する件
 - 八 2026年度グローリア・チャペル
施設管理会計予算案に関する件
- 九 宗教法人キリスト品川教会規則改定に関する件
- ① 責任役員定数変更に関する件
 - ② 定期総会日程変更に関する件
- 十 2026年4月総会日程の延期に関する件

※ 議員資格満18才以上の現任陪餐会員。

(陪席) 義務教育終了後満18才未満の現任陪餐会員と不在会員、
教員でない附属幼稚園教諭は、教会総会に陪席することができま
す。(キリスト品川教会教規第3章第14条より)

2026年度

教会役員候補者

キリスト品川教会
代表役員 黄允滉

教会役員会は次の6名を役員候補者として選考い
たしました。

荒美 俊三

石川 一

井手 英利史

佐山 貴亮

平川 智恵子

山名 弘史

《今日のお知らせ》

○ 三月総会を二二時三〇分から地下ホールで行い
ます。教員は総会資料と讃美歌をお持ちの上
ご参加ください。

○ 二〇二六年度の十分の一献金袋を配布しました。

○ 受難節を過ごしています。この一年、受けた恵
みを原稿用紙二枚(八〇〇字)以内でお書きい
ただき、ご提出ください。メールでの提出も受
け付けています。

○ 二〇日(金) 一〇時から新旧役員会・組織会を
行います。新旧役員とスタッフはご参加ください。

○ 一七日(火) 一〇時から附属幼稚園の卒園式を礼
拝堂で行います。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会はお休みです。

《シオンの会より》

三月一八日(水) 一〇時三〇分〜一二時シオンの会を第
二第三シオンルームで行います。(オンラインも併用しま
す。)テキスト「使徒言行録を読もう」P.八〇 一一ペト
ロの回心 (二〇章一節〜三五節) を読みます。新しく参
加をご希望の方は川越啓子姉までご連絡ください。

《愛餐会班より》

四月五日(日) イースターの日に愛餐会を行います。ロ
ビーの掲示板上に申込表を掲示しますので、三月二九日(日)
までに記入をお願いします。会費は五〇〇円です。

《手仕事の会オリーブより》

来週二二日の一〇時〜一〇時二〇分、主日礼拝後の二〇
分間の二回、手仕事の会がお店を出します。静岡に住まい
の澁澤姉の献品による美しいカードや、プレゼントにもな
る手作りのイースターグッズ、限定数のパウンドケーキを
扱います。場所はロビーです。ぜひおいでください、お待
ちしています。

《味噌造りの会より》

自家製お味噌作り

日程は四月二三日木曜一五時半から一七時と二四日金曜
九時から一六時頃までです。参加費など詳しくは楠富士子
姉・日比野靖子姉にお声掛け下さい。

《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

〔詩篇十五篇〕ダビデの詩。賛歌。

主よ、どのような人が、あなたの幕屋に宿り

聖なる山に住むことができるのでしょうか。

それは、完全な道を歩き、

正しいことを行う人。

心には真実の言葉があり

舌には中傷をもたない人。

友に災いをもたらず、

親しい人を嘲らない人。

主の目になわなないものは退け

主を畏れる人を尊び

悪事をしないとの誓いを守る人。

金を貸しても利息を取らず

賄賂を受けて無実の人を陥れたりしない人。

(司・会)

これらのことを守る人は

とこしえに揺らぐことがないでしょう。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「だれを探しているのか」

聖書 ヨハネ18章1〜11節

説教者 吉村和雄名誉牧師

《次週の礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「人の声か、主の御声か」

聖書 ヨハネ18章28〜38節

説教者 宮間彰広兄

●主日礼拝(午前10時30分・礼拝堂)

讚美歌 134番 346番

説教 「主イエスの愛に応えて」

聖書 マルコ14章1〜11節

説教者 吉村和雄名誉牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌	136番	73番
説教	「あなたの父と母を敬え」	
聖書	出エジプト記20章12節(旧約P.126)	
司式	石川一兄	
聖餐司式	黄允湜 牧師	
説教者	黄允湜 牧師	

前奏曲「我は深き淵より汝に呼ばわる」 J.S.バッハ

○讃美歌136番

1. 血しおしたたる 主のみかしら
とげにさされし 主のみかしら
なやみとはじに やつれし主を
われはかしこみ きみとあおぐ
2. 主のくるしみは わがためなり
われは死ぬべき つみびとなり
かかるわが身に かわりましし
主のみこころは いとかしこし
3. なつかしき主よ はかり知れぬ
十字架の愛に いかに応えん
この身とたまを とこしえまで
わが主のものとなさせたまえ
4. 主よ 主のもとに かえる日まで
十字架のかげに 立たせたまえ
み顔をあおぎ み手によらば
いまわのいきも 安けくあらん

アーメン

○聖歌隊による讃美

「愛するイエス」 ヨハン・クリューガー作曲

1. 愛するイエス 何をなされて
こんな裁き 受けられたか
どんな罪を 犯されたのか
愛する主は
2. 鞭打たれ 茨の冠
かぶせられ 蔑まれた
酸(す)いぶどう酒 十字架の上で
口にされた
3. 羊飼いは 羊のために
その命 あえて捨てる
正しい主が 僕のために
罪を担う
4. 何と深い 主のみ心よ
何と広い イエスの愛よ
責め苦の道 歩まれたのは
私のため

○讃美歌73番

1. くすしきかみ たえなる主よ かいなきわれにも
くだしたまえ 主のみたまを あふるるばかりに
あたえたまえ 主をたたうる うたごころを
2. あおき空よ つくりぬしの みいつをあらわせ
かがやく日よ 主なるかみの みさかえ示せや
つきよ ほしよ こえをあわせ み名をほめよ
3. かみを知れる ひとの子らよ すくいをたたえよ
主をあいする あまつたみよ み代をばことほげ
とわにいます 主なるかみに みさかえあれ

アーメン

聖餐曲「あなたも見ていたのか」 D.ウット

後奏曲「ギリアドには乳香がある」 H.S.ルンガストン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。